

OMIC Food Safety Newsletter No. 562 Sep 2, 2022

日本の食品安全情報をタイムリーに日本語とタイ語で解説するニュースレターです。

★ 今週のトピックス (日本の厚生労働省からの情報)

1. モニタリング検査の追加(違反による強化または検査命令解除による引下げ: 検査頻度 30%)

(2022年8月中旬)

通知	対象食品 (含加工食品)	検査項目	区分	備考、参照 URL
8/17	米国産 りんごジュース及び原料 用りんご果汁	パツリン	強化	https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000977009.pdf 基準値 0.050 mg/kg - ppm

※検査対象条件等詳細につきましては、参照 URL をご確認ください。

2. 最近のタイ産品の輸入違反事例

(2022年8月中旬)

日付	品名	不適格内容	基準	検査の種類
8/17	漬物: その他の野菜 (SOUR PICKLED MUSTARD HALF IN BRINE)	使用基準不適合 (安息香酸ナトリウム 使用(対象外使用))	不使用	行政検査

★ RASFF マンスリーレポート

EUにおけるタイ産品の違反状況

(2022年8月中旬)

日付	届出国	届出理由	通知タイプ
8/12	オランダ	家禽肉調製品からサルモネラ菌の検出	border rejection notification
8/16	オランダ	第71条の特例による、別の加盟国での監視 処理要求(鶏むね肉ささみ)	information notification for attention
8/17	オランダ	鶏肉からサルモネラ菌の検出	information notification for attention
8/25	ドイツ	オランダ経由、タイのライスヌードルから未 承認の遺伝子組み換え作物の検出	information notification for follow-up

★ CFIA、子供の食品プロジェクト: 2020 年次報告書を発表

カナダ食品検査庁(CFIA)は、乳児や子供による消費量の多い食品中の残留物質(農薬、動物用医薬品、汚染物質)を監視するための「子供の食品プロジェクト」の2020年次報告書を発表しました。乳児と子供は、体重の軽さ、発達や成長、消費パターンなどから、それらの残留物質への暴露によるリスクがより高い可能性があります。今回検査したいずれのサンプル(子供用シリアル、ヨーグルト/ヨーグルト飲料、プリン、フルーツスナック、グラノーラ/シリアルバーなど、国産品と輸入品の両方を含む)も健康リスクにはならないと判断がされましたが、欧州食品安全機関(EFSA)も以前から対象年齢を細かく区切った上でデータ収集や暴露評価を行っているほか、米国食品医薬品局(FDA)も「よりゼロに近づける」計画の影響から、特に小さい子供における残留物質への暴露によるリスク評価が進められており、これまで以上に子供への影響に注目が集まっていることが感じられます。

※詳細は下記 URL を御覧ください。

<https://inspection.canada.ca/food-safety-for-industry/food-chemistry-and-microbiology/food-safety-testing-bulletin-and-reports/children-s-food-project-2020/eng/1657134074819/1657134075190>

※次号のOMIC Food Safety Newsletter No. 563の発行は、2022年9月16日とさせていただきます。

発行者: 海外貨物検査株式会社 バンコク支店 <http://omicbangkok.com/>

問合せ: (バンコク支店代表) coor.th@omicnet.com

ニュースレターバックナンバー: (タイ語) <http://omicbangkok.com/th/download/2>

(日本語) <http://omicbangkok.com/en/download/2>

食の安全ウェブサイト: (日本語) <http://www.omicfoodsafety.com/>